

東京医科歯科大学病院の理念と基本方針
●理念：世界最高水準のトータル・ヘルスケアを提供し、人々の幸福に貢献する
●目標：1. 患者中心の良質な全人的医療の提供
2. 人間性豊かな医療人の育成
3. 高度先進医療の開発と実践
4. 人々の信頼に応える社会に開かれた病院

医療連携支援センター TEL: 03-5803-4655
(地域連携室) 医科 FAX: 03-5803-0119
予約専用FAX: 03-5803-0285



医療連携だより



写真右より
笹倉 祐輔 (ささくら ゆうすけ)
大脇 那奈 (おおわき なな)
塚田 容子 (つかだ ようこ)
山田 知世 (やまだ ともよ)

専門・認定看護師のご紹介 第8回 急性・重症患者看護専門看護師

当院で活躍する認定看護師をご紹介します。

私たちの活動理念は、緊急度や重症度の高い患者さんに対して集中的な看護を提供し、ご本人とご家族の支援や医療スタッフ間の調整などを行い、最善の医療が提供されるように環境を整えることです。時代の変化とともに、生命予後だけでなくQOL向上も求められるようになりました。私たちは主にER-ICUやG-ICUで活動していますが、療養環境や病期を選ばず、急激な生命の危機的状態となった人々を全人的に捉えて、回復過程や穏やかな最期を支える専門的で質の高い看護を目指しています。機能強化棟竣工も間近となった今、病院と地域の皆様との連携をより深め、継続したシームレスな看護が提供できるよう活動してまいりますのでよろしくお祈りします。



機能強化棟

進捗状況

2023年秋に本格稼働する「機能強化棟」の工事は着々と進み、4月から少しずつ病院機能が移転・拡充されていきます。機能強化棟の完成によって当院のERセンター機能、ICU機能、手術スペースも拡大しますので、より多くの患者さんに高度で先進的な医療を提供できるようになります。さらには地下鉄駅と病院の間にパブリックスペースなどを設けることで、トータルヘルスケアの情報発信を積極的に推進します。建設工事に関わる注意事項は、病院内の掲示やホームページなどをご覧ください。建設工事期間中は、当院をご利用される皆様の安全と安心を第一に心がけてまいります。



東京医科歯科大学病院
医療連携支援センター長
(病院長補佐)
田村 郁 (たむら かおる)

田村新センター長のご挨拶

井津井康浩前センター長の後任として、2023年4月より医療連携支援センター長を拝命しました田村郁と申します。専門は脳神経外科で、脳腫瘍や脳卒中・頭部外傷など、手術が必要な脳脊髄疾患の患者さんの治療に携わってきました。その中で、治療中・退院後などの患者さんのQOLを考えた時、地域の医療機関との連携が欠かせないと痛感してまいりました。医療連携支援センターは、ご紹介いただきました患者さんが、安心してスムーズに当院への通院や入院ができるように、そして退院後、治療後には各地域の医療機関へ円滑な橋渡しができるようお手伝いをするのが役割と考えております。患者さんの紹介や初診予約など地域医療機関との窓口の「地域連携室」、入院中や退院後の療養をスムーズに行えるよう支援する「入院支援室」、患者さんの疑問・ご意見に対応する「患者相談室」、患者さんと家族が安心して治療や療養に専念できるようサポートする「医療福祉支援室」のスタッフと共に、患者さんや地域医療機関のお力となれるよう努力してまいります。どうぞよろしくお願い致します。



東京医科歯科大学病院
前・医療連携支援センター長
(病院長補佐)
井津井 康浩 (いつい やすひる)

井津井前センター長のご挨拶

2年間という短い期間ではありましたが、センター長を務めさせていただきました。医療ソーシャルワーカー、看護師、事務職員からなる大きな組織の管理者となり、職種ごとの価値観に触れることができ大変勉強になりました。また、入院支援室では薬剤師や管理栄養士の関与により患者さんが安全・安心な入院につながることも認識しました。各職種の強みを生かすことができる環境作りを就任時から目指していたところ、これまで以上に職員が互いを認め合い尊重し合う文化が強くなってきたと自覚しております。コロナ禍で対外活動が制限されていたので、地域の医療機関の方々との関係性を強化することが難しかった分、センター内の職種間連携や院内連携を強化することに注力することができました。田村郁先生という素晴らしい先生に引き継ぐことができたので、今後は皆様と同じように地域で東京医科歯科大学を支える医療人として邁進していきたいと思っております。地域の皆様と直接関わるのが難しい2年間でしたが、これまで医療連携支援センターをご支援いただきまして、誠にありがとうございました。引き続き、新体制となる医療連携支援センターへのご支援ならびにご指導を賜りたいと存じます。

TOPICS

- 医療連携支援センター長のご挨拶
- 第2回関連病院長会議を開催
- 小児外科のご紹介
- むし歯科のご紹介
- 専門・認定看護師のご紹介
- 機能強化棟工事の状況

医療連携支援センターの役割

- 紹介患者さんのスムーズな受け入れ
- 医療機関からの初診事前予約受付
- 入院・退院患者さんとそのご家族のサポート
- その他の医療・福祉相談



第2回 関連病院長会議が開催されました

2022年12月1日に東京医科歯科大学M&Dタワーにて、第2回東京医科歯科大学関連病院長会議を開催し、学内外合わせて71名の先生方にご参加いただきました。前半が講演会、後半が懇親会という2部形式で詳細は下記のとおりです。師走のお忙しい中、ありがとうございました。

講演会

日時	2022年12月1日(木) 19時開会
場所	東京医科歯科大学M&Dタワー 2階鈴木章夫記念講堂
司会	医療連携支援センター長 井津井 康浩
開会挨拶	理事・副学長(医療担当) 大川 淳
演題	「TMDU医療データ活用の始動とデータサイエンスが拓くもの」
講演者	東京医科歯科大学M&Dデータ科学センター 生物統計学分野 教授 高橋 邦彦



第2部の講演会で挨拶をする大川 淳 医療担当理事



講演をした生物統計学分野の高橋 邦彦 教授

懇親会

場所	東京医科歯科大学 3号館2階 医学科講義室1
開会挨拶	病院長 内田 信一
来賓挨拶	医科同窓会理事長 大野 喜久郎先生
次第	・乾杯 東京都立病院機構理事長特別補佐 山口 武兼先生
	・歓談
閉会挨拶	主席副病院長 新田 浩



懇親会で挨拶をする内田 信一 病院長



来賓挨拶をする医科同窓会理事長の大野 喜久郎 先生



乾杯のご発声をしてくださった東京都立病院機構理事長特別補佐 山口 武兼 先生



閉会の挨拶をする新田 浩 首席副病院長

関連病院長会議講演内容

医歯領域医療データの社会還元が目標

2020年4月に超スマート社会を牽引する、医学・歯学にフォーカスしたデータサイエンスの研究・教育拠点を目標として5つの基幹分野と11の協力分野から成るM&Dデータ科学センターが発足いたしました。おもに大学病院の電子カルテや画像データ、検査数値データを利用しながらの統計学的な解析や解析手法を開発し、医療ビッグデータを活用した新概念の先制医療関連研究を行っております。

コロナ禍であっても本学理念のもと推進していかねばならない学術活動のため、医療ビッグデータを活用し、先進医療の観点を取り入れた研究計画を学内公募いたしました。

しかし、医療情報の活用にあたっては、臨床の間隔を縫って様々なシステムからの地道な収集作業が必須でした。そこで2020年度末にDWH(データウェアハウス)を導入し、システム間の串刺し検索を可能にし、抽出項目についてはファイル出力できるようになりました。

さらに医歯学領域に特化した多層階から成る医療ビッグデータを、実用に即したデータベースとして構築し、研究・教育・産官学連携等に適正に活用することで、医療データを社会に還元しようと医療ビッグデータプラットフォーム整備事業を始動いたしました。

その際、医療ビッグデータを社会還元していくうえで、発生する学内の課題点整理を行い、これから検討していく事項を明確化致しました。

活用には現場との連携が必須

最先端の医学研究をするにあたり学内の医療ビッグデータをTMDUのストレージサーバおよび東大医科研の計算機資源を活用することで、機械学習・人工知能による疾患診断および予後予測を可能となりました。

医療ビッグデータプラットフォーム事業の展望といたしましては、臨床情報に加え患者さん個人が日々記録しているスマホ・アプリの入力データを連携し、より精度の高い悪化予測を目指すことや、リキッドバイオプシー検査技術の開発、プログラム医療機器/医療機器プログラムの開発促進、ダッシュボードや様々な形式でのスムーズなデータ出力などが考えられます。

また、実際に研究・解析を進めていくにはデータサイエンスだけでは困難であり、現場との連携が重要となるため学内の医療研究者と共同研究という形で行っています。より魅力的な共同研究となるよう疾病や領域を限定せず、横断的な「医療データ」を提供するシステムを目指し、これからも研究を進めてまいります。

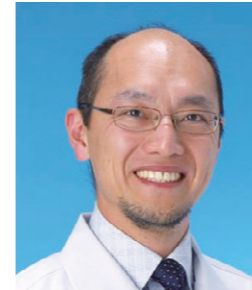
小児外科のご紹介

小児外科では、新生児・小児の外科的疾患に対し、専門医が責任を持って保存的・手術的治療を、小児科・新生児科とのスムーズな連携の下、行います。手術の際には整容性にも充分配慮した低侵襲手術を心がけています。



詳細は小児外科HPをご覧ください。

岡本 健太郎 診療科長より



鼠径ヘルニアなどの小手術については、お子様や保護者の方の負担の少ない日帰り入院手術で対応しています。先天性疾患や小児固形腫瘍など、集学的治療が必要な疾患に対しても、小児科・新生児科・麻酔科・産婦人科とシームレスに連携しながら、それぞれのお子様や保護者の方に合わせた最適な治療を提供しています。



【取り扱う主な疾患】

鼠径ヘルニア、陰嚢水腫、停留精巣、臍ヘルニア、先天性食道閉鎖症・先天性横隔膜ヘルニア、先天性腸閉鎖症(十二指腸・小腸・結腸)、鎖肛(直腸肛門奇形)、ヒルシュスプルング病、胆道閉鎖症、先天性胆道拡張症、腹壁破裂、臍帯ヘルニア、胎便性腹膜炎(胎児腹水)、小児固形腫瘍(神経芽腫、腎芽腫、肝芽腫、奇形腫、卵巣腫瘍等)、肥厚性幽門狭窄症、腸回転異常症、先天性横隔膜ヘルニア、虫垂炎、メッケル憩室、正中頸嚢胞、側頸嚢胞、尿管管遺残、耳前瘻孔、舌小帯短縮症 等



【お問合せ】

地域連携室

TEL : 03-5803-4655
受付時間 : 平日 8:30 ~ 16:00

病院代表

TEL : 03-3813-6111 24時間対応
小児外科 岡本、もしくは水野まで
(夜間休日は外科・小児科当直まで)



むし歯科のご紹介 世界初!放射線なしで画像診断できるOCT

むし歯科では、放射線を用いずに、妊婦さんにも安全に繰り返し使用できるむし歯の画像診断装置、歯科用光干渉断層計(OCT)を、本学と国立長寿医療研究センター、企業との間で共同開発を進めて2020年に薬事承認が得られ、世界初の第1号機が運用スタートとなっています。OCTによって、虫歯治療が必要な歯の内部まで画像で確認しながら、歯を削る必要があるか、歯を削らずに再石灰化を促す治療で済ませることができるかを診断することができます。



詳細は、こちらをご覧ください。



【お問合せ】

TEL : 03-5803-4300
受付時間 : 平日 12:00 ~ 16:00